



<製作20周年記念>

ポンヌフの恋人

Les Amants du Pont-Neuf

ニュープリント版/HDRリマスター版

監督:レオス・カラックス 出演:ジュリエット・ピノシュ/ドニ・ラヴァン

un film de LEON CARAX

JULIETTE BINOCHE DENIS LAVANT

Avec KLAUS-MICHAEL GRÜBER dans le rôle de HANS Producteur délégué BERNARD ARTIGUES Directeur de la photo JEAN-YVES ESCOFFIER
Décors MICHEL VANDESTIEN Ingénieur du son HENRI MORELLE Montage NELLY GUETTIER Producteurs exécutifs HERVE TRUFFAUT-ALBERT PRÉVOST
Directeurs de production CHARLES FERRON-NICOLAS DAGUET Une coproduction FILMS CHRISTIAN FECHER-FILMS A2 distribuée par GAUMONT

1991年フランス作品/125分/カラー/日本語字幕 配給:アーク・フィルムズ 配給協力:コミュニティシネマセンター 東京国際映画祭コンペティション受賞
©1991 STUDIOCANAL - France 2 Cinéma

<http://leoscarax.com/>

PG12
12歳以上

21世紀に甦る、 20世紀最後の純愛映画。

天涯孤独で不眠症の大道芸人アレックス(ドニ・ラヴァン)。
空軍大佐の娘で失恋の痛手と失明の危機のため家出した
画学生ミシェル(ジュリエット・ピノシュ)。
癒しがたい傷をかかえホームレスとなった
二人の新たな「ボーイ・ミーツ・ガール」、
レオス・カラックスの「アレックス青春3部作」完結編。



【解説】 パリのボンヌフ橋を舞台に、天涯孤独の青年と失明の危機にさらされた女子画学生との愛を描いた、レオス・カラックス監督・脚本による「ボーイ・ミーツ・ガール」「汚れた血」に続く(アレックス青春3部作)の完結編。撮影当時カラックスの恋人であったジュリエット・ピノシュと、「ボーイ・ミーツ・ガール」「汚れた血」でも主演を演じ、カラックスの化身と言われていたドニ・ラヴァンが純粋な恋人たちを熱演。若い二人の保護者役というべきハンスにはドイツの著名な舞台演出家クラウス=ミヒャエル・グリューパーが演じ、洗い演技で厚みを加えた。また、ミシェルの親友マリオン役で、ピノシュの実妹で写真家のマリオン・スタレンスが出演している。フランス映画史上最高額の3.8億円という巨額の総製作費や、同じくフランス映画史上最大のオープンセット(南仏モンプリエにパリの街並みを再現)、加えて2度の撮影中断に相づく破産など、早くから全仏マスコミの話題となり完成前から伝説化した「ボンヌフの恋人」。「カラックス監督の最高傑作」と呼ばれた本作は、公開当時、パリで封切り2週間で14万人という驚異的大ヒットを記録した他、日本でも92年の初公開時には6か月以上という驚異的なロングランヒットとなった。製作は「カミーユ・クローテル」のクリスチャン・フェシュネール、エグゼクティブ・プロデューサーはベルナルド・アルティエグ、撮影は「汚れた血」のジャン・イヴ・エスコフィエが担当、音楽はレリタ・ミツコによるオリジナル曲「恋人たち」をはじめ、テヴィッド・ボウイなどが曲を提供した。

【物語】 パリで一番古く美しい橋「ボンヌフ」で暮らす天涯孤独の青年アレックス(ドニ・ラヴァン)は、いつものごとく酒を飲みながら夜のパリを放浪していたが、車に片足を轢かれてしまう。そこに通りかかったのが、空軍大佐の娘でありながら、恋の痛手と生涯治る見込みの無い目の病とで絶望的な放浪の毎日を送っている放浪中の画学生ミシェル(ジュリエット・ピノシュ)。アレックスはミシェルの美しさに初めて恋を知り、ボンヌフ橋を仕切っている初老のホームレス、ハンスにこの家出娘のミシェルを置いてくれるように頼み込む。そして二人のホームレス生活が始まる。ジュリアンというチェリストへの恋の未練と画家としての失明の恐怖を両手に抱えたミシェルと、他人との繋がりをおもたず生きてきたアレックス。二人は互いに絆を深め、革命200年祭の夜に華々しく打ち上げられる花火の下で恋におちる。だがしばらくして、両親の捜索願いから眼病の治療法が発見されたことを知り、ミシェルの心は揺れる…。

ボンヌフの恋人

Les Amants du Pont-Neuf

1991年/フランス映画/カラー
ヴィスタサイズ/125分
配給:アーク・フィルムズ
配給協力:コミュニティシネマセンター
提供:星空/フロンティアワークス

監督=レオス・カラックス
製作=クリスチャン・フェシュネール
撮影=ジャン・イヴ・エスコフィエ
美術=ミシェル・ヴァンデステファン
編集=ネリー・ケティエ
音楽=ヴェンジャミン・プリテン
主題歌=レリタ・ミツコ
出演=ジュリエット・ピノシュ/ドニ・ラヴァン
クラウス=ミヒャエル・グリューパー/ダニエル・ピュアン
マリオン・スタレンス/エティット・スコブ

ボンヌフ(Pont Neuf, フランス語で「新しい橋」の意味)

フランス、パリの現存最古の橋。橋はシテ島の西端(下流側)をかすめてセヌ川の左岸(南側)と右岸(北側)を結んでいる。シテ島の南側にアーチが5つ、北側にアーチが7つあり、全長238m、幅22m。橋の建設はアフリ3世によって決定され、1578年に起工、1607年に竣工した。橋は当時一般的であった小さなアーチを連続させる構造を持っている。当初から多くの交通で賑わい、長期にわたってパリで最も幅の広い橋であった。橋はたびたび修理を受けてきたが、その基本的構造は建築当時のままである。近くにこの橋から名付けられたメトロのボンヌフ駅がある。

©1991 STUDIOCANAL - France 2 Cinéma

